

令和5年度 磐田市立向陽中学校 学校評価書

※A:十分満足 B:おおむね満足 C:もう少し努力すべき D:大いに努力が必要

学府	重点	目標・取組	評価指標	自己評価	考察・改善策（数値は、R3⇒R4⇒R5の経年変化 <%>）	学校関係者評価
夢をもち、共に輝き、『あい』があふれる児童・生徒	【寛容】やさしさ	自他を大切に、豊かな人間関係を築こうとする生徒の育成	・A:進んであいさつをしている【95%】	A	【考察】 A:進んであいさつをしている 生徒(95.9⇒95⇒ 96) 保護者:(92.4⇒88.8⇒ 95) 教師:(100⇒100⇒ 70) 学校関係者:(92⇒100⇒ 92) B:人が困っている時は進んで助けている。 生徒:(R5 94) 【改善】 あいさつは向陽中自慢の伝統の1つなので、あいさつができる雰囲気づくりに努めたい。学校だけでなく地域でも気持ちの良いあいさつができるとよい。	◆【御意見】 朝の交通指導をしていると通りにかかる生徒は自分から「おはようございます」と言ってくれる。 ・下校する生徒は皆大きな声であいさつができていた。 ・目を見て大変素晴らしいあいさつができていくと思う。会釈からでもできると良いと思う。 ・進んであいさつする様に指導を願う。受け身になっている子どもが見られる。 ・学校社会こそ進んであいさつを交わし、コミュニケーションを高めてほしい。 ・あいさつは地域の中では今ひとつと感じます。 ・高校生になるとなかなかあいさつができなくなるので、中学のうちから大きな声であいさつが出来るように地域からお声をかけよう。 ・地域行事等で生徒によって対応力に差があると感じた。経験をさせる機会を与えるのが地域でありたい。 ・あいさつは地域全体へ広がっていくことが「地域」としてできないか。 ・不登校者が毎年増えてきている。難しい問題ではあるが、関係機関と協力し合って取り組んでほしい。
			・B:人が困っているときは進んで助けている【92%】	A		
	【自立】つよさ	ねばり強くやり遂げたり、困難や変化に自ら適応したりする生徒の育成	・C:積極的に自分の考えを伝えている【70%】	A	【考察】 C:積極的に自分の考えを伝えている 生徒:(62.7⇒68⇒ 71) 保護者:(63.1⇒68.0⇒ 83) 教師:(91.7⇒61⇒ 70) D:失敗を恐れなくてチャレンジしている。 生徒:(R5 78) 保護者:(R5 75) 【改善】 「考えを積極的に伝える」「自分の言葉で表現する」という面では、もう少し鍛えたいという願いがある。ICTを効果的に活用し、より深い学びができる授業づくりに努める。また、生徒主体を軸に様々な活動を行い、活動を通して自己有用感・自己肯定感を高めたい。	◆【御意見】 少し内容豊かなかと思う。今後もっと外に向かって「強さ」「積極性」を発揮してほしい。 ・積極的に自分の考えを伝える時や失敗を恐れなくてチャレンジする時周りのサポートも必要だと思う。失敗しても心の支えになる友人や先生がいればチャレンジしやすいと思う。 ・学校は失敗から学ぶ場所だと考える。恐れずにチャレンジして「こうしたらダメだった。」の経験を生かし積極的に挑戦してもらいたい。 ・自分の考えを自分の言葉で表現する事は比較的できていると思うが、聞かれなければ言わないという面でおとなしい気がする。 ・Dについて小規模小学校から中学校 故の課題と感じる。外部の活動に参加してその子にとって得意なことを伸ばせる機会がよりあったらよいと思う。地域でも考えていきたい。 ・自分で考えて表現するという点でも消極的に感じる。一人だと心細いのか自信が無いのか、誰かと同じ意見に合わせることで安心している感じを受けた。
・D:失敗を恐れなくてチャレンジしている【80%】	B					
【創造】こころざし	より良い生き方や社会を切り拓こうとするこころざしをもった生徒の育成	・E:行事や課外活動に積極的に参加している【90%】	B	【考察】 E:行事や課外活動に積極的に参加している 生徒:(90.2⇒86⇒ 88) 保護者:(78.8⇒91.1⇒90) 教師:(75.0⇒100⇒ 80) F:将来の夢や目標をもっている。 生徒:(69.9⇒73.1⇒ 77) 保護者:(68.2⇒70.7⇒ 68) 教師:(66.7⇒100⇒ 80) 【改善】 Eについては、生徒・教師の評価が下回った。生徒の積極性を高める手立てを講じていきたい。また、子ども達が将来の夢や目標に向かって努力し、成長できるように、キャリア教育にも力を入れていきたい。	◆【御意見】 ・地域の行事（納涼祭・ふれあいまつり等）ボランティアに積極的に参加してもらいたい。 ・協議行事も通常に戻りつつあります。さらに積極的に参加を願いたい。 ・学校保健委員会で情報を生徒に伝えていくと共に、保護者にも(学校保健だより・PTAだより等)広めていくと、委員会としての意図が生かされていくと思う。 ・ボランティアではやる気のある生徒が増えた。 ・目標や夢をもつことの大切さを教えてください。これがないと自分は何をすべきか具体的なことが描けず、中途半端になったり努力がおろそかになったりします。志の育成をお願いします。 ・子供達の世界観、人生観を築くため、諦めずに将来の夢や目標を見つけてもらいたい。そのため外部の体験・経験に触れてください。 ・こころざしは周りから学ぶことが多いので、地域の行事やボランティア、清掃活動等、積極的に子供達に参加させてほしい。3年生だけでなく、1・2年生も参加するように指導してほしい。 ・キャリア教育の中に、高校生や大学生からのアドバイス、意見交換があったら良いと思う。 ・楽しく職業を紹介するYou Tube等と見て、話し合う等の活動を通して、将来の夢や職業についての関心を高めしていくことはどうか。	
		・F:将来の夢や目標をもっている(生徒)【75%】	A			
日本一やさしさが育つ向陽学府	人間性や指導力向上を目指す頼もしい教職員集団の形成	・G:先生は子供のことを理解して指導にあたっている【90%】	A	【考察】 G:先生は子供のことを理解して指導にあたっている 保護者:(90.6⇒91.7⇒ 90) 深い子ども理解に努めている。 教師:(100⇒87.5⇒ 100) H:教育公務員としての資質向上に努めている。 教師:(100⇒100⇒ 100) G・・・今後も、一層深い子ども理解に努め、教育活動に取り組みたい。 H・・・過去5年間100%を続けている。職員一人一人の意識に加え、職員間でよく話をするなど、人間関係が充実していると思う。今後も、報・連・相を大切に、教職員にとって働きやすい環境、やりがいを感じる職場づくりに努めたい。	◆【御意見】 ・通常学級、支援級どちらの生徒にたいしても、理解して指導に努めてもらいたいです。 ・人生の先輩、教育のプロとして、人間性豊かな姿勢で子供達を導き下さい。 ・子供達を見守り指導してくださっている向陽中の先生方にはいつも感謝しありません。今後もよろしく願っています。 ・人数の少ない学校だからこそ、先生と生徒の距離が近く、子どもについてよく知っていただいています。 ・「教育公務員としての資質向上に努めている」が100%が続いている。今後も続けていってください。 ・教師として心掛けは100%であってほしいが、行動は100%なのか、学校から見えてくるのか。 ・社会では、いじめなどの問題で後付けの説明がなされることがある。その辺に深く目を配ってほしい。	
		・H:教育公務員としての資質向上に努めている【100%】	A			
	保護者・地域との温かなつながり、地域とともにある学校づくりの推進	・I:地域の活動に積極的に参加しようとしている【85%】	B	【考察】 I:自分が地域の活動に積極的に参加しようとしている 子どもが地域の活動に積極的に参加しようとしている 生徒たちは、地域の人々と、学校や地域で関わっている J:学校の様子等の情報公開が進んでいる 生徒:(77.2⇒80.6⇒ 88) 保護者:(55.9⇒59.8⇒ 70) 教師:(91.7⇒74⇒ 70) 学校関係者:(77⇒90⇒ 92) 保護者:(R4 85⇒ R5 85) 【改善】 積極的に地域の活動(防災訓練、清掃活動、ボランティア活動等)に参加することで、地域への関心を高めたい。	◆【御意見】 ・Iについて、元々向陽の子も遠くは、地域に関わってくれるいい子たちばかりです。ボランティア募集を少し違う地域の期待以上に、自主的に参加してくれる子ども達が多かったです。それに際して、保護者とも連絡を取ったことで、保護者と地域と連携を図るきっかけにもなりました。今後どういった機会が中学生に必要なか、方法を考えることが地域の務めだと感じています。 ・地域理解、地域活動への参加と言いますが、中学生自身の思いと地域の受け止めと一致しない点が見受けられるので、一体関係校に合わせ、地域づくり、地域活動について、考えてみる必要があると思います。 ・地域の活動への参加は、もともと小さい頃から家族や友達と参加することが大事だと思います。中学生になると部活や習い事などで参加しなくてもできない子もいます。 ・情報公開はコロナがすぐ収束している。 ・2年生の「職業人講話」や3年生の「地域の恩返し」が今年も実施しなかった。色々な大人と接する機会が減少傾向にある1年でした。築いてきた地域とのつながりを大切に育てていくことが大事だと思います。 ・ボランティア等の参加について個人差がかなりある様に思う。能率などの災害を見ても、中学生の力が主力になることを思うと、逆に地域として受け入れ体制を整えることはとても大切だと思う。 ・ボランティア参加への依頼内容や方法が悪いのか、参加してもらえない。 ・どの「アンケート対象者」においても評価が下降しているのが、「地域の人の交流、自然への関心」です。どちらか一方だけが力を入れようとしても不可能なことなので、協議のような地域の様々な立場の人が、自分たちにできそうなこと、していきたいことを出し合って、進めていくことが、目の前の子供達に生かされるものと思います。 ・今までコロナやインフルで活動が制限されていたが、地域づくりの一員として、行事やボランティア活動にも参加してください	
		・J:学校の様子等の情報公開が進んでいる【85%】	A			

学校関係者評価を受けてのまとめ

- 気持ちの良いあいさつができていくという意見が挙がった。学校だけでなく、登下校中や地域でも、自分から進んで気持ちのよいあいさつができるようにしていきたい。
- 今年度は昨年度に比べ、様々な地域の活動に積極的に参加する子が増えた。今後も、地域の方々と連携し、地域行事やボランティア等の情報を共有し、子どもたちが参加するきっかけづくりに努めていきたい。できるだけ決まった生徒だけでなく多くの生徒が地域に関り、地域の歴史や自然への興味や関心を高めていきたい。
- △一方で、地域行事へ参加する生徒が固定されているという声もあった。部活動や課外活動の関係で地域行事に参加するタイミングが合わない生徒がいることも考慮し、様々な機会があることを情報発信していきたい。
- △「考えを積極的に伝える」「自分の言葉で表現する」という面では、もう少し鍛えたいという願いがある。ICTを効果的に活用し、より深い学びができる授業づくりに努める。また、生徒主体を軸に様々な活動を行い、活動を通して自己有用感・自己肯定感を高めたい。
- 【課題】
- ・思いやりのある生徒、目標に向かって粘り強くやり遂げる生徒、こころざしを持って自己実現に努める生徒の育成を目指し、日本一優しきあふれる学校づくりに努める。
- ・よい部分は伸ばし、できていない部分を強化する取組をしていく。また、評価指標(学府・学校)は、実態に応じて設定し学校評価書と連動させる。
- ・学校としての重要度、生徒の満足度の差(過不足)の対策を講じていく必要がある。